

集落の農地を守り続けていく集落営農

【類型】 水稻の共同栽培 + 特用作物の共同栽培

【組織名】 くまがわ 久万川集落協定営農組合（平成26年4月設立）

【所在】 高知県高知市

【構成戸数・人数】 19戸・62人

【経営規模】

水稻	0.35ha
そば	0.2 ha
茶等	0.25ha



設立総会(H26)

設立の経緯

- 平成12年から中山間地域等直接支払制度に参加。
- 平成24年頃から集落で話し合いを実施、「集落の農地は、みんなで守らなければ」という皆の気持ちを確認し、先進事例調査・ワークショップ等を行い、集落営農に取り組むことになった。

取組の特徴・効果

- 地権者が耕作できなくなった農地において、作物（ソバ、茶、米、ユズ、ブシュカン等）を栽培し、収穫物を販売している。
- 収穫物（茶、ソバ等）の加工販売にも取り組んでおり、高齢者も活動に参加している。
- 地域の棚田の景観保全のため、ポピーの植え付けや彼岸花の自生地の管理を行っている。
- 地域の直販店である「とんとんのお店」や宿泊施設「オーベルジュ土佐山」に販売をしており、オーベルジュとは地域のイベント等でも連携を図っている。
- 公民館を集いの場とし、活動への参加の周知や、安否確認も兼ねた新聞受け・掲示板を設置している。

【具体的な取組内容】

○体制

役員:組合長、副組合長兼会計:1名、監事:1名、理事:4名

組合員(久万川地区全住民)

生産部

共同農地の決定
作物栽培(米、ソバ、茶、ユズ等)

加工部

ソバ粉、ハブ茶、
番茶

景観部

ポピー、彼岸花

販売部

とんとんの店



←水稲の共同栽培と彼岸花の景観



家族を交えた地域の交流→

【主な機械・施設】

○バインダー

○その他の機械は、個人機械の持ち寄り

【課題・今後の取組】

○「集落の農地を守りながら、楽しく続けていくこと」が目標。

○組合員が参加する労賃の時給単価を上げていく。

○とんとんの店やオーベルジュ土佐山への販売の拡大。

○みんなが組合の営業部長となり得るよう、住民の名刺を作って意識づくりを行う。

○子供も作業に参加できる作物の栽培に取り組み、住民皆が参加できる活動体制をつくる。